

時	学習活動	観点		児童の思考の流れ	評価	
		関	考		技	知
1	<p>課題の設定 本時の目標：単元課題を通して、疑問をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボードに折り鶴を敷き詰めた折り鶴アートを作るための単元課題からどの先生に折り鶴作りを手伝ってもらったらよいかを考える必要があることに気付き、解決に向けての見通しを持つ。 ○時間も折り鶴の数も違う提案をどうやって比べたいのだろうか。 ・学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・折り鶴アートで平和への祈りを伝えたい。 ・2人の中で速く折れるのはだれなんだろう。 ・どうやったら比べられるのか調べたい。 	<p>◇単元課題から、二種の異なる単位量の速さの比較に関心を持ち、その方法について考えている。(行動観察、ノート)</p> <p>★課題解決に向けて、自分の考えや意見を進んで表現している。(行動観察、ワークシート) 【主体性】</p>
<p>(単元課題)</p> <p>平和への祈りをこめた折り鶴アートを作ります。今までに5・6年生で折った鶴は2800羽です。アートには3000羽の折り鶴が必要です。</p> <p>先生は足りない200羽を2人の先生方に100羽ずつ折ってほしいと思って相談したところ、次のように言われました。</p> <p>A先生：私は40羽を50分で折り、30羽を30分で折り、最後の30羽を40分で折るよ。</p> <p>B先生：私は60羽を1時間で1.2羽のペースで折り、残りの40羽を1時間で折るよ。</p> <p>どちらの先生が速く100羽の鶴を折れるでしょうか。式・図・言葉を使って説明して下さい。</p>						
2	<p>情報の収集① 本時の目標：速さの意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「速さ」のイメージを持つために陸上記録会の100m走と50mハードル走のタイムを比較し、どちらが速いかを考える。 ○速さを考えるために、まずは陸上記録会のみなさんのタイムを使って考えよう。 ○100m走と50mハードル走の速さを比べるにはどうしたらよいのだろうか。 ○1秒あたりに走る道りを比べたらよい。 ○1m走るのに何秒かかったかで比べたらよい。 ○どちらか一方の量を1にそろえて比べたらよい。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や道りが同じだったら、速さが比べられるけど、違ったら比べられない。 ・1秒あたりに走る道りで比べたら、速さが分かった。 ・1m走るのに何秒かかったかで比べたら速さが分かった。 ・どちらかの単位量を1にそろえたら、速さを比べることができた。 ・他の場合ではどうなんだろう。 	<p>◇どちらかの単位を1にそろえると速さが比べられることを理解する。(行動観察、ノート)</p> <p>★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(行動観察、ノート) 【論理的思考力】</p>
3	<p>情報の収集② 本時の目標：速さの表し方を知り、道りと時間を知って、速さを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会見学で乗るバスを選ぶ際に、2台のバスの「速さ」に着目し、「どちらかの単位時間を『1』に揃えて比べる」という「単元をつらぬくアイデア(本質)」を使って解くことのよさを知り、活用する。 ○社会見学の送迎をお願いしたい二台のバスの、どちらが速いかを求めよう。 ○1時間あたりで走れる道りで比べたらよい。 ○1km走るのにかかる時間で比べたらよい。 ○どちらか一方の単位量を1にそろえて比べたらよい。 ○速さを求める公式をたてよう。 ○速さの表し方を知ろう。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や道りが同じだったら、比べられるけど、違ったら比べられない。 ○1時間あたりで走れる道りで比べたら分かった。 ・1km走る時間で比べたら、分かった。 ・どちらかの単位量を、『1』にそろえたら、比べることができた。 ・何かルール(公式)がありそうだ。 ・他の場合でも比べることができそうだ。 	<p>◇どちらかの単位を1にそろえると速さが比べられることをまとめて表現している。(行動観察、ノート)</p> <p>◇速さを求める公式を理解する。(行動観察、ノート)</p> <p>★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気付き、表現したり、修正したりしている。(行動観察、ノート) 【自己理解】</p>

4	情報の収集③ 本時の目標：速さと時間を知って、道のりを求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学で乗るバスを選ぶ際に、2台のバスの「道のり」に着目し、「どちらかの単位時間を『1』に揃えて比べる」という「単位をつらぬくアイデア（本質）」を使って解くことのよさを知り、活用する。 バスが1時間で走る道のりを求めよう。 1分を60倍して求めたらよい。 道のりを求める公式をたてよう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で走る道のりが分かっているから、60倍すれば求められる。 1分あたりの道のりが分かっているからできる。 何かルール（公式）がありそうだ。 他の場合でも比べることができそうだ。 	◇速さと時間から道のりを求める公式を理解する。（行動観察・ノート） ★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりしている。（行動観察、ノート） 【自己理解】
5	情報の収集④ 本時の目標：道のりと速さを知って、時間を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学で乗るバスを選ぶ際に、2台のバスの「時間」に着目し、「どちらかの単位時間を『1』に揃えて比べる」という「単位をつらぬくアイデア（本質）」を使って解くことのよさを知り、活用する。 社会見学で送迎をお願いするバスが広島までにかかる時間を考えよう。 時間の求め方を考えよう。 道のりを速さでわればよい。 時間を求める公式をたてよう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 道のりと速さが分かっているから、道のりを速さでわれば求められる。 1時間あたりの道のりが分かっているから求められる。 何かルール（公式）がありそうだ。 他の場合でも比べることができそうだ。 	◇速さと道のりから時間を求める公式を理解する。（行動観察・ノート） ★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりしている。（行動観察、ノート） 【自己理解】
6	整理・分析 本時の目標：時速と分速と秒速との相互の関係がわかり、いろいろな速さで比べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学で乗るバスを選ぶ際に、時速と分速、秒速と表現の仕方が違っていても、「単位をつらぬくアイデア（本質）」が活用できることに気付く。 時速と秒速を比べよう。 身の回りの速さを比べよう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 時速と秒速は比べられないから、分速に直して考えたらよい。 もうどんな速さでも比べられそうだ。 	・時速、分速、秒速の速さの単位を換算することができる。（行動観察、ノート） ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。（行動観察、ノート） 【自らへの自信】
7	まとめ・創造・表現・振り返り① 本時の目標：学習してきたことを活用して単元課題を解くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 学習してきたことを活用して単元課題を解決する。 どの先生が速く折るかを考えよう。 分速などを基にして考えよう。 どの先生が速く折っているか提案しよう。 	○	<ul style="list-style-type: none"> どの先生の折り方が速いだろう。 分速を基にして考えたらいい。 やっぱり、どれかの量を『1』にそろえたら、比べることができた。 	◇速い先生を単位をつらぬくアイデア（本質）を使って、考えている。（行動観察、ノート） ★資質・能力が全て発揮されている（行動観察、ノート） 【主体性】 【論理的思考力】 【自己理解】 【自らへの自信】
8	まとめ・創造・表現・振り返り② 本時の目標：パフォーマンス課題を解くことができる。	<p style="background-color: #90EE90; display: inline-block; padding: 2px;">パフォーマンス課題</p> <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス課題を解き、単元について振り返る。 	○		◇パフォーマンス課題を解くことができている。（パフォーマンス課題） ★既習したことを生かして、主体的にパフォーマンス課題に挑戦している。（パフォーマンス課題） 【主体性】

8 パフォーマンス課題

（パフォーマンス課題）

3人の先生方が、折り方を提案されました。

A先生：私は60羽を40分で折り、20羽を30分で折り、最後の20羽を20分で折るよ。

B先生：私は60羽を1時間で1.2羽のペースで折り、残りの40羽を1時間で折るよ。

C先生：私は100羽を最初から最後まで1分間で1.2羽折るペースで折るよ。

どの先生が一番速く100羽の鶴を折れるでしょうか。式・図・言葉を使って説明して下さい。

9 パフォーマンス課題の評価規準

1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> どの先生が速く折れるかを正しく求められない。 	<ul style="list-style-type: none"> どの先生が速く折れるかを単位をつらぬくアイデア（本質）を活用して求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> どの先生が速く折れるかを、算数カードや式・図・言葉や単位をつらぬくアイデア（本質）を活用して求めることができる さらに、自分だったらどのようなペースで折るかを提案することができる。